



世界幸福度ランキング

雪害による急遽の一日オンライン授業。

ご家庭で様々にサポート、そしてご協力をいただき、まずは本当にありがとうございました。

第1クォーターの時もそうですが、お家の方々が後ろでしっかりと支えて下さっていることが画面には映らずともはっきりと伝わってきました。

道徳で実施した内容を、簡単に振り返ります。

我々の人生の目的は
〇〇であることです



大切なのは、人生を楽しむこと。
そして〇〇でいること。
それがすべてよ。



〇〇にあてはまる言葉は
何だと思いますか？



ドラマとオードリー・ヘプバーンの言葉から授業を始めました。

「〇〇にあてはまる言葉」を考えると色々な答えが出てきました。

- 健康
- 自分
- 自然などなど。

その中に、「幸せ」という答えもありました。

今回は、「幸せとは何か」を考える勉強です。

ここから、ヨシタケシンスケさんの絵本を使って読み進めていきました。



幸せであるためには、
■が大切

■に当てはまる言葉は
何だと思いますか。

一通り読んで聞かせた後に、左の
ことを問いました。
答えは、チャットで打ち込んでも
らいました。

- ・家族
- ・やさしくなること
- ・食べ物
- ・楽しむこと
- ・思いやりを持つこと、などなど

<p style="text-align: center;">日本</p>  <p style="text-align: center;">2013年度 世界幸福度ランキング ■位</p> <p style="text-align: center;">2022年度 世界幸福度ランキング ■位</p>	<p>ここで世界幸福度ランキングについて考えました。</p> <p>日本の順位は一体何位なのか。これもチャットに予想を書いた上で正解を発表しました。</p> <p>2013年は、43位でした。2022年は、54位でした。先進国の中では、これは最下位クラスの位置にあります。</p>
<p style="text-align: center;">世界幸福度ランキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ①お金を稼いでいるか ②助けて欲しいとき助けてもらえるか ③健康に長く生きているか ④働き方や言論・報道が自由か ⑤他の人をゆるす優しさがあるか ⑥国を信じているか ⑦幸せだという実感があるか 	<p>どれだけ幸福なのかを測る物差しは、左の7つです。</p> <p>そのうち、①と③は日本の数値は非常に高いのです。</p> <p>つまり、他の観点における数値が低いことにより、順位を大きく下げているということです。</p> <p>では、どの物差しの数値が最も低いのか。</p>
<p style="text-align: center;">世界幸福度ランキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ①国のためにお金を稼いでいるか ②助けて欲しいとき助けてもらえるか ③健康に長く生きているか ④働き方や言論・報道が自由か ⑤他の人をゆるす優しさがあるか ⑥国を信じているか ⑦幸せだという実感があるか 	<p>水色は、やや低い数値です。青色は、かなり低い数値です。</p> <p>中でも、⑦の「幸せだ」という実感があるかという項目が、取り分け日本人は低いと言われています。</p> <p>これを「主観的幸福度」とも表現します。</p>
 <p style="text-align: center;">2013年度 主観的幸福度</p> <p style="text-align: center;">「自分が幸せだと思えるか」が低いのが原因ではないか</p>	<p>日本は、言わずと知れた先進国です。途上国に比べて、物もお金もたくさんあります。</p> <p>しかし、この主観的幸福度が圧倒的に低いのです。</p> <p>「自分が幸せだと思えない人」が多いということです。</p>

ブータン



2006年度
世界幸福度マップ8位
「世界一幸せな国」

なぜ「世界一幸せな国」と
言われているのでしょうか？

ここで、別の国の例を見てみることにしました。

2006年度、世界幸福度で8位になり、取り分け有名になった国、ブータンです。

途上国としては断トツのトップとなる8位になり、当時大きな話題となりました。日本より物もお金も圧倒的に足りていないブータンは、なぜこんなにも幸せなのでしょう。



© KENSAKU SEKI

夢は何ですか？

そこで、小学校に行って、どんな勉強をして育てているのか、インタビューしてみました。

まず聞いたのは、「夢は何ですか」という質問です。

子どもたちの答えと、その理由を3つほど紹介しました。



© KENSAKU SEKI

「お医者さんになりたい」



© KENSAKU SEKI

「病気や怪我で苦しんでいる人を幸せにしたい」



© KENSAKU SEKI

「先生になりたい」



© KENSAKU SEKI

「子どもたちを幸せにしたい」



© KENSAKU SEKI

「サッカー選手になりたい」



© KENSAKU SEKI

「みんなに夢を与えて幸せにしたい」



「病気や怪我で苦しんでいる人を幸せにしたい」

「子どもたちを幸せにしたい」

「みんなに夢を与えて幸せにしたい」

© KENSAKU SEKI

3人の答えに共通していたことは何だと思いますか？



「人の幸せを願える人を育てる」



いじめは
ありますか？

一つ一つの夢は日本でも同様に聞かれるものでしたが、その理由は少し違うニュアンスを受ける人が多いはずです。

夢をかなえた先に見ているのが、自分というよりも、周りのみんなであることが多いことがわかります。

SOLAN の建学の精神が「グローバルシチズンシップの育成」であるように、ブータンの学校にも目標があります。

それぞれの学校には、いずれも「人の幸せを願える人を育てる」という言葉が掲げられているそうです。

別の質問もしてみました。
日本の学校で大きな問題となっている「いじめ」についてです。

ブータンの少年は、この質問になんと答えたのか。

これもチャットで答えてもらいました。

中々答えは出てきません。

「ある」や「ない」などのシンプルな答えではなかったからです。

	<p>「いじめって どんなこと？」</p>	<p>少年の答えはこうでした。 「いじめってどんなこと？」 少年は、いじめというものを知らなかったのです。 インタビューした人が、いじめについて、次のように説明しました。 「友達に暴力をふるったり、大勢で悪口を言ったり、物をかくしたりすること」と。 少年は次のように返しました。</p>
	<p>「日本人は 何のために そんなことを するの？」</p>	 <p>「そんなことをしたら、自分のことが好きになれない。」 「好きになれなかったら、誰のことも幸せにできない。」 「自分も幸せに生きられない。」 「どうしてそんなことをするの？」</p>

子どもたちは、とても不思議そうな顔をしながら聞いていました。
ブータンの少年が不思議そうに聞き返したことが、なお一層その？を加速させたのかもしれませんが。
授業を続けました。

<p>ブータン</p>  <p>2006年度 世界幸福度マップ8位 「世界一幸せな国」 2019年度 世界幸福度ランキング■位</p>	<p>そのブータンの幸福度、2006年は8位でした。 ではそれから10年以上経った2019年にはランキングはどうなったでしょう。 ここでは、「上がったか」「下がったか」を予想しました。 多くの子が「上がった」と予想。しかし、結果は95位でした。少し落ちたのではありません。急落です。</p>
--	---

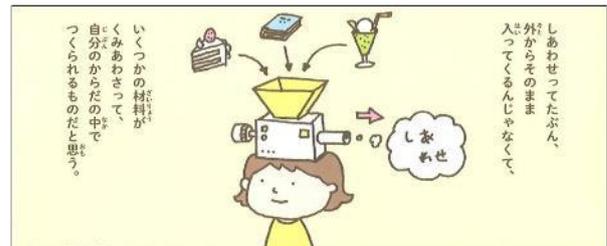
「世界一幸せな国」
ブータンに何があったと
思いますか？

一体、ボタンに何があったのか。

授業の中では、ここで答えをあえて告げませんでした。

一番大切な部分だからこそ、子どもたちに自分の力で考えさせてあげたいし、たどり着かせてあげたいと考えからです。「できたら、お家の人と相談してみてね」とも伝えておきました。

ここで、改めてヨシタケシンスケさんの絵本に戻りました。



授業の終わりに、改めて「しあわせ」とは何かを考え、文章に起こしてみることになりました。

そのいくつかを紹介します。(渡辺道治)

[1 学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ \(google.com\)](http://www.google.com)

